

# 令和6年度(2024) 出雲市水道事業会計予算の概要

## 1. 予算の概要

出雲市水道事業は、「出雲市水道事業ビジョン」に基づいた計画的な施設の更新や耐震化の取組を推進しています。

令和6年度予算の収益的収入では、水道料金、他会計繰入金、長期前受金戻入の減等により、前年度に対して3,620万円の減を見込んでいます。

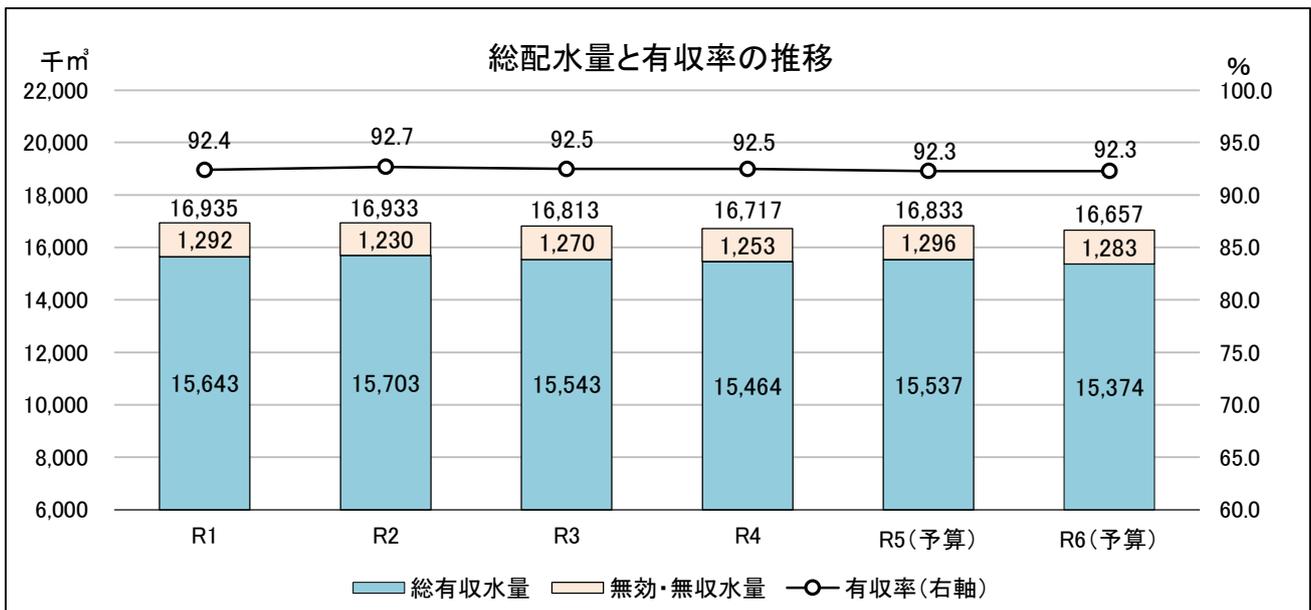
収益的支出では、燃料費等調整額の減による動力費の減、減価償却費の減等により、前年度に対して2,460万円の減としています。

資本的収支では、管路等の更新や耐震性の向上に引き続き取り組むとともに、安定した水源確保のため、新規水源(来原系)の開発や出雲・平田地域の水運用に係る連絡施設の整備を進めます。

## 2. 業務量

区 分	令和6年度予算	令和5年度予算	増 減	令和4年度決算
給 水 戸 数 (戸)	57,800	57,500	300	57,417
給 水 人 口 (人)	140,700	142,100	△ 1,400	141,772
総 配 水 量 (千m <sup>3</sup> )	16,657	16,833	△ 176	16,717
総 有 収 水 量 (千m <sup>3</sup> )	15,374	15,537	△ 163	15,464
有 収 率 (%)	92.3	92.3	0.0	92.5

近年の実績及び動向等から、給水戸数は前年度より増加すると見込み、給水人口は前年度より減少すると見込んでいます。総配水量及び総有収水量は前年度より減少すると見込み、有収率は前年度と同程度と見込んでいます。



### 3. 収益的収入及び支出 (給水事業経営のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和6年度 予算(税込)	令和6年度 予算(税抜)	令和5年度 予算(税抜)	増 減	令和4年度 決算(税抜)
水道事業収益	3,613,300	3,325,800	3,362,000	△ 36,200	3,386,329
営業収益	3,118,800	2,838,100	2,853,400	△ 15,300	2,834,726
水道料金	3,041,500	2,765,000	2,782,000	△ 17,000	2,769,342
その他営業収益	77,300	73,100	71,400	1,700	65,384
営業外収益	494,300	487,500	508,400	△ 20,900	551,547
加入金	70,400	64,000	68,800	△ 4,800	64,040
他会計繰入金	42,151	42,151	49,718	△ 7,567	61,951
その他営業外収益	381,749	381,349	389,882	△ 8,533	425,556
うち長期前受金戻入	369,200	369,200	378,300	△ 9,100	405,714
特別利益	200	200	200	0	56
水道事業費用	3,440,300	3,233,400	3,258,000	△ 24,600	3,138,977
営業費用	3,133,400	3,021,500	3,045,100	△ 23,600	2,928,381
職員給与費	307,410	307,160	307,200	△ 40	281,902
動力費	362,600	329,700	348,300	△ 18,600	274,219
減価償却費	1,493,000	1,493,000	1,511,000	△ 18,000	1,553,052
資産減耗費	90,000	90,000	90,000	0	77,701
その他営業費用	880,390	801,640	788,600	13,040	741,507
営業外費用	296,300	201,300	202,300	△ 1,000	210,311
支払利息	145,300	145,300	146,300	△ 1,000	156,257
その他営業外費用	151,000	56,000	56,000	0	54,054
特別損失	600	600	600	0	285
予備費	10,000	10,000	10,000	0	0
営業利益		△ 183,400	△ 191,700	8,300	△ 93,655
純利益		92,400	104,000	△ 11,600	247,352

令和6年度の純利益は、水道料金、他会計繰入金、長期前受金戻入の減及び動力費、減価償却費の減等により、前年度より1,160万円減の9,240万円と見込んでいます。

#### 【収入】

- 水道料金は、小口径(13mm～25mm)の使用水量の減、中口径(30mm～75mm)の使用水量の増等を見込み、27億6,500万円を計上
- その他営業収益は、下水道事業からの徴収委託負担金、旧簡易水道事業不用施設撤去関連負担金、設計審査手数料、原因者負担金等
- 加入金は、令和4年度決算並みを見込み6,400万円を計上
- 他会計繰入金は、統合簡易水道事業企業債償還利息及び児童手当に係る一般会計繰入金
- その他営業外収益は長期前受金戻入、施設分担金、預金利息等

#### 【支出】

- 職員給与費は、上下水道事業管理者、一般職31人及び会計年度任用職員3人の人件費
- その他営業費用は、薬品費、修繕費、委託料、受水費等
- 支払利息は、企業債償還利息(うち統合簡易水道事業分5,165万円)
- その他営業外費用は、控除対象外消費税(特定収入に係る消費税額)

#### 4. 資本的収入及び支出 (建設改良のための収支)

(単位:千円)

区 分	令和6年度 予算(税込)	令和5年度 予算(税込)	増 減	令和4年度 決算(税込)
資本的収入	1,348,200	1,063,000	285,200	894,996
企業債	760,000	500,000	260,000	300,000
国庫支出金	44,266	0	44,266	0
工事負担金	188,665	150,441	38,224	132,115
他会計負担金	10,866	7,000	3,866	13,059
他会計繰入金	344,403	405,559	△ 61,156	449,822
資本的支出	3,012,900	2,767,000	245,900	2,415,387
建設改良費	2,148,700	1,889,600	259,100	1,548,605
拡張事業	524,470	583,400	△ 58,930	92,760
改良事業	1,624,230	1,306,200	318,030	1,455,845
企業債償還金	863,200	876,400	△ 13,200	866,782
予備費	1,000	1,000	0	0
収支不足額	1,664,700	1,704,000	△ 39,300	1,520,391

##### 【収入】

- 企業債は、水源開発用地購入及び管路更新に係る事業を対象に7億6,000万円借入
- 国庫支出金は、基幹管路耐震化事業の一部を対象とする水道管路緊急改善事業の交付金(1/3)及び旧簡易水道施設に係る設備更新の一部を対象とする生活基盤近代化事業の補助金(2/5)
- 工事負担金は、支障移転工事に係る移設負担金
- 他会計負担金は、消火栓の新設や設置替えの工事に係る負担金
- 他会計繰入金は、統合簡易水道事業元金償還金及び児童手当等に係る一般会計繰入金

##### 【支出】

- 拡張事業は、来原系水源開発整備事業、出雲・平田地域連絡施設整備事業等
- 改良事業は、灘分第3水源施設更新事業、基幹管路耐震化事業等
- 企業債償還金は、企業債の元金償還金(うち統合簡易水道事業分4億1,178万円)

##### [主要建設事業一覧]

##### ○ 拡張事業

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
来原系水源開発整備事業	270,700	上島町新水源地用地購入、補償費等
出雲・平田地域連絡施設整備事業	104,939	平田町外平田高校送・配水管布設工事 平田町愛宕山公園内送・配水管布設替工事 送水管 φ200 L=1,009m

○ 改良事業

(単位:千円、税込)

事業名	事業費	事業概要
灘分第3水源施設更新事業	234,454	取水施設更新工事 取水埋渠 φ900 L=67m
基幹管路耐震化事業	278,835	平田町城の前橋付近配水本管布設替工事 平田町愛宕山公園内送・配水管布設替工事 平田町愛宕山配水池場内送・配水管布設替工事 配水本管 φ500 L=512m
管路更新事業	746,328	支障移転関連設計業務 3件 管路更新工事 8件、支障移転関連工事 33件

5. 補てん財源(留保資金)

(単位:千円)

財源内訳	令和5年度末見込額	令和6年度中増加額	令和6年度中減少額	補てん額	令和6年度末見込額
減債積立金	364	0	0	0	364
建設改良積立金	890,327	104,000	0	292,073	702,254
損益勘定留保資金	0	1,269,800	0	1,269,800	0
消費税資本的収支調整額	0	102,827	0	102,827	0
当年度純利益	104,000	92,400	104,000	0	92,400
合計	994,691	1,569,027	104,000	1,664,700	795,018
貸倒引当金 賞与引当金(3条)	46,340				52,144
留保資金残高	948,351				742,874

令和5年度末の留保資金残高は、前年度からの繰越事業を含む建設事業の財源不足への補てんを行った結果、9億4,835万円になると見込んでいます。

令和6年度も引き続き、建設事業に内部留保資金を活用し、令和6年度末には7億4,287万円になると見込んでいます。

